

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス あさがおねっと八雲

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個室・静養室等があり活動スペースもある	各部屋・活動スペースの有効活用化に努める。
	2	職員の配置数は適切である	71%	14%	足りない場合には、他事業所からの応援を呼んでいる	体調不良での当日欠勤等で人員不足になることがあるため、体調管理の徹底を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	手すりやフロアマットの使用	フロアマット等古くなったものの張り替えや、日々メンテナンスを行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	0%	振り返りを常に行い行動にうつしている	より細かい目標設定やその振り返りの徹底を行う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	71%	0%	アンケートを実施し、業務改善に努めている。	保護者様から常に高い評価を得られるように、日々業務に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	71%	0%	ホームページにて公開している。	公開するだけで終わらず、業務改善に繋げていくよう努める。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14%	57%		外部評価を行うようにし、評価結果を職員間で共有し業務改善につなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	86%	0%	自社研修から市町村の研修など、参加している。	より多くの研修を受けれるよう努める。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	71%	0%	保護者様へのモニタリング等をおこない作成している	職員間でも話し合い、計画の作成に取り組む。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	0%		全ての職員が使用できるように努める。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	71%	0%	レクリエーション等の活動内容を決めて実行している	意見を出しやすい職場づくりを行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	71%	0%	習慣活動等、毎月内容を変更し行っている	活動プログラムが一定化しないように、常にチームで案を出し合い実行するよう努める。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	71%	0%	1日のスケジュールを決めて支援している。	スケジュール設定をより細かくできるよう努める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	71%	0%	状況や年齢に合わせて活動内容を、変化させている。	活動内容が一定化しないように工夫しながら、行っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	71%	0%	全職員が周知できるように、確認している。	伝達漏れが無いように打ち合わせ時間を設けるなどの工夫をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	71%	0%	気になったことや、保護者から得た情報等を共有している。	その日出動していない職員にも、共有できるように「共有ノート」の活用を進めていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	71%	0%	毎日ケース記録をつけ支援につなげている	ケース記録を日々見返し、支援に努められるよう努力する。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	71%	0%	モニタリングを行い、職員間でも、気にかかる点は共有している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	71%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	71%	0%	参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	86%	0%	トラブルが起こらないように情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	43%	14%	保護者様から情報を得ている。	職員の全体周知ができるように、より良い体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	57%	14%	情報を共有し、支援方法を一致するなどを行っている。	情報共有したものを、全職員が見れるように工夫を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	57%	14%	一部行っている利用者もいる。	全ての利用者に対して行えるように努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	0%	連携を取り、研修を受けて、助言を頂いている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	57%	14%	地域イベント等に参加をしている	活動する機会を定期的にとれるように努める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	29%	43%		機会があれば積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	常に保護者様と情報共有をし、保護者様へのモニタリングを行っている。	送迎時だけでは伝えきれないことも多い為、対策を考えたい。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	71%	0%	児童が不安定になった時の声掛けの仕方などを伝えることがある。	全ての職員がペアレント・トレーニングを出来るよう、日々の支援を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	71%	0%	契約時に必ず、説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	助言を行ったり、支援員間で共有し、解決に努めている。	全ての職員が助言や支援を行えるよう、日々の業務に取り組む。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	86%	29%		保護者会等の開催を積極的に行い、保護者同士の連携を支援できる体制を整える。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情について確認し、迅速に対応するようにしている。	苦情に繋がらないよう、体制を整え情報共有などの徹底を行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	86%	0%	ブログや、あさがお通信を作成している。	ブログの内容が一定化しないよう、常に新しいことを発信できるように努める。
	35	個人情報に十分注意している	71%	29%		個人情報の取扱いについて、定期的に話し合い常に気を付けられるようにする。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	その都度、必要な配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	57%	14%	夏祭り等でポスターを作成し、事業所を地域の方にも開放している。	夏祭りだけでなく、その他行事でも行えるよう工夫する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	86%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	月に2回、防災訓練・学習を行っている。	外部の施設等に行くなど、様々な取り組みができるよう努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	86%	0%	月に一度、事業所会議で虐待について話し合い	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	71%	0%	記載し、了承を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	43%	29%		職員全体で対応の再確認を行い、対応の徹底・統一を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	作成し、共有している。	確認できない場合もあるため、時間を設けるなど工夫をしたい。